

と思いましたが。

大阪天満橋ロータリーの皆さんも、今迄ロータリー財団に多くの寄付をされていると思いますが、頂いたご寄付はすべてグローバル補助金・地区補助金等として、海外の医療関係の改善、子供達の栄養改善、教育環境の改善、震災復興への取り組み等に活用されています。ぜひ、大阪天満橋ロータリーの皆様が取組んでおられる社会奉仕や国際奉仕に一人でも多くの方に関わりを持っていただき、活動して頂きたいとおもいます。きっと爽やかな感動を味わうことが出来ると思いますし、クラブの活性化にはこの上ないミッションになることは間違いないと考えます。これらの奉仕活動のエネルギー、原資となるロータリー財団への寄付に、ご理解をいただきご協力をお願い致します。

私は、本年度の地区方針の中に改革を取り上げています。ここ数年、地区予算は赤字です。皆さんの会社で予算計画を立てる時に赤字予算を組まれますか？少しでも赤字が出ないように年度初めの予算計画を組まれると思います。地区予算は、先程も申しましたが、地区のメンバーがピークの時の5700名程の時と、現在の3600名程の時と今迄大きく変わっていません。

その当時と今では時代背景が大きく変化しています。私は、まず本年度の収入予想を立て、それに見合った支出を各委員会にどう配分するのかを考えました。また、各委員長、副委員長と面談をして、今行っている事業が時代にあっていいのか等、十分に意見交換をさせていただくと同時に、現状の地区の懐具合を理解してもらいました。また、事業の意義、成り立ちが今のロータリーに合わない事業は、一旦中止をして時代に合った事業に変更していただく等、各委員長にはご無理をお願いしました。そして、ご理解をいただく事によって委員会予算を削減する事が出来ました。地区の各委員会に時代にあった改革をしてもらう事によって、事務所運営費を含めて単年度黒字化を達成する目途が立ちました。私は、年度が始まってからは、各クラブに負担のかかる事業は決してやるまいと思っています。今迄、地区は決算時に赤字補填の為に繰越金を取り崩してきました。繰越金は赤字補填の為に使うのではなく、緊急の災害援助や地区の未来、発展のために使うべきではないかと思えます。

もう一つのお願いがITです。RIは大きく変わってきています。

山本会長が重点項目に掲げて目指しておられる「RI会長賞」もITの活用が不可欠となっています。RIに対する要望や申請などは、全てITを利用しなければなりません。マイ・ロータリーに自らが登録していただく必要があり、登録をしていただくと、ウェブサイトから、自クラブの活動内容が確認出来たり、会員コーナーでは、「元気なクラブ作りのために」や「会員増強ガイド」など、充実したクラブづくりに役立つさまざまなソースをダウンロードできます。ロータリー・クラブ・セントラルやその他オンライン・ツールを利用して、RIの内の

容やロータリーの動きが理解でき、きっとロータリー活動が楽しくなると思います。私もそうですが、大阪天満橋ロータリーの皆さんの中にも、ITを扱うのが厳しい年齢の方もおられると思いますが、ぜひトライして下さい。この7月1日から、ロータリーメンバーには新しい会員プログラム「ロータリー・グローバル・リワード」が始まりました。パソコン・スマートフォン・タブレット端末から利用できる新しいプログラムです。このプログラムを利用すれば、世界各地でレンタカー、ホテル、レストラン等の割引を受けることが出来ます。ただし、割引を利用できるのは、繰り返しますが、マイ・ロータリーに登録した会員のみとなりますので、ぜひ登録をして活用して下さい。もしわからないことがあれば、地区広報委員会に問い合わせをいただければ、ご説明をさせていただきます。

それでは最後に、12月4日・5日に開催されます2660地区 地区大会のPRビデオをご覧ください。今回は従来の地区大会と違って、少し変則的な開催となります。

一日目は、RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会から始まり、晩餐会はリーガロイヤルホテルの宮川シェフが大阪産の旬の食材を使いおもてなしをさせていただきます。

二日目は、11時から世界的に活躍する若きアーティストのヴァイオリニスト 庄司 紗矢香さんとピアニスト 小菅 優さんの「夢のデュオ・コンサート」が開催されます。

ぜひロータリアンの皆さんをはじめ、お子さん、お孫さん、ローターアクト、インターアクト、ご友人の方々、多くの方に素晴らしい演奏をお聞き頂きたいと思っております。

メインの特別シンポジウムは「究極の職業奉仕」 「関西発のイノベーション—最先端研究から創薬へ」のタイトルで、大阪大学 岸本名誉教授、京都大学 本庶名誉教授、お二人による基調講演を開催致します。どうか、ふるってご参加いただきますようお願い申し上げます。

最後に、大阪天満橋ロータリークラブの益々のご繁栄を祈念しまして、公式訪問を終わらせて頂きます。有難うございました。

**♪大阪天満橋ローターアクトクラブ♪**  
**9月第2例会のお知らせ**  
日 時：9月16日（水）  
【開 会】19：30  
内 容：「これが私の行動目標！」  
場 所：錦城閣（通常例会場）

**☆☆ 本日のランチメニュー ☆☆**  
ミネストローネ  
ミンチカツ、茸入りデミグラスソース、キャベツ、ポテトサラダ、トマト、胡瓜  
アーモンドパンナコッタ、メロンのコンポート添え  
コーヒー又は、紅茶  
バゲット、ソフトロールとバター

# Rotary OSAKA-TEMMABASHI ROTARY Club Weekly Bulletin

第2660地区 大阪天満橋ロータリークラブ 創 立 昭和42年(1967)11月4日

事務局 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目3番1-1100号 大阪駅前第1ビル11階

例 会 毎週木曜日 12時30分 ヒルトン大阪 4F

会 長 山本 喬一 幹 事 中野 格 広報委員長 山村 朋史

事務局電話 (06) 6344-0120 FAX (06) 6344-0126 ホテル電話 (06) 6347-7111

E-mail:temma-rc@temmabashirc.xsrv.jp http://temmabashirc.xsrv.jp



世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度RIテーマ

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

SEPTEMBER 10 2015 NO. 2307

## 基本的教育と識字率向上月間

### ☆☆ 今日のプログラム ☆☆

- 1) 例 会 (2307回)
- 2) ソング 我等の生業
- 3) 卓 話 「迫りくる医療危機」  
医学部受験専門予備校 ロゴス  
理事長 黒木 經孝 様  
岸本 良一 会員紹介

### 次週（9月17日）のお知らせ

- 1) 例 会 (2308回)
- 2) ソング 村祭り
- 3) 卓 話 「糖尿病とネアンデルタール」  
医療法人 宮武内科  
宮武 明彦 様  
木村 忠夫 会員紹介
- 4) 10月度定例理事会

### ☆☆ 9月度の在籍表彰 ☆☆

- 23カ年 中村 健輔 17カ年 川原 和彦
- 16カ年 山村 朋史 14カ年 梅本 知秀
- 11カ年 永田 秀次

### ☆☆ 6ヵ月ホームクラブ皆出席者 ☆☆

- 箕村 保 中村 修
- (以上敬称略)

### \*\* 先週の例会報告 \*\*

#### ☆☆ 会長報告 ☆☆

皆様こんにちは、ビジター、ゲストの方々、ようこそお越しいただきましたごゆっくりお過ごしください。本日は、当2660地区立野純三ガバナー公式訪問をお迎えしての例会です。ご多忙のなかお越しいただき、会員一同感謝いたしますと共に心より歓迎申し上げます。例会前にも懇談会においてご指導いただきましたが、例会でも卓話をいただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

8月29日には、地区青少年交換委員会で2014-15年度派遣生9名の帰国報告会が、立野ガバナーご臨席の下開催され、当クラブからフランスに派遣しました徳岡虎太郎君も1年の成果を発表いただきました。

同じく29日には地区ロータリー財団委員長会が開催され、大矢委員長に出席いただきました。

8月30日には大阪府青少年活動財団のユースリーダーのファイナルセレモニーが吉野宮滝野外学校と東大阪の自由の森なるかわとの2箇所で行われました。当日は2手に分かれて、当クラブの伝統行事「青年功績賞授与式」を行ってまいりました。当日はあいにくの雨模様で、野外でのキャンプファイヤーと星空は楽しめませんでした。体育館においてロー

ソクの灯りの下厳かにセレモニーが挙行されました。毎年のことながら貴重な時間を割いてキャンプリューダーというボランティア活動に精を出す若者の姿は大変清々しく見ていて気持ちのよいものです。参加者一同、心を洗われて会場を後にしました。郡青少年奉仕委員長はじめご参加の皆様、お疲れ様でした。

私の方から8月27日の理事会決定いただきました会務に関して2点報告させていただきます。

- 1. 戦略計画委員会は、特別委員会の位置づけで複数年継続して設置することといたしました。本年度中に発足予定の創立50周年準備委員会は別途、特別委員会として立ち上げることに決めました。
  - 2. 2016-17年度の青少年交換派遣候補生として、永田秀成君を当クラブから推薦することを決めさせていただきました。
- 会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

### ☆☆ 幹事報告 ☆☆

- ① 会員各位からのご寄付によるネパール地震被災者支援が始まっております。現状を写した写真が届きましたので掲示板をご覧ください。
- ② 「2015-2016年度地区大会」出欠のご返事を事務局までお願いいたします。
- ③ 第5回ロータリーデー実行委員会の出欠のご返事をお願いいたします。
- ④ 本日18：00よりNo.7・8テーブル情報集会がヒルトン大阪「王朝」にて開催されます。関係各位よろしくお祈りいたします。
- ⑤ 9月5日（土）に秋の家族会が開催されます。ご参加の方は11：50にヒルトン大阪ロビーに集合をお願いいたします。

☆☆ 出席報告 ☆☆ ( ) 内は会員総数を基準とした値

国内ビジター	1名	会員総数	58名	9月3日の出席率	84.62%
国内ゲスト	3名	会員出席	44名(52名)	5週間前(8月6日)の	
外国ビジター	0名	出席規定適用免除	25名	メイクアップを含む出席率	92.00%
外国ゲスト	0名	会員欠席	8名	メイクアップ実施会員	3名(欠席者7名)

☆☆ にこにこ箱 ☆☆ 敬称を略す

本日は立野ガバナーがお世話になります。また、父がいつもお世話になっております。

大阪RC 井戸 剛

立野純三ガバナー公式訪問を歓迎して

山本 喬一

立野ガバナー 本日はよくいらっしやいました。ありがとうございます。

溝手 悟

立野ガバナー ようこそお越し頂きました。

中野 格

立野ガバナーをお迎えして

郡 悦清

立野純三ガバナーをお迎えして

小寺 一矢

立野ガバナー 本日御来訪ありがとうございます。

石田 道夫

立野ガバナー ようこそお越し頂きました。

永田 秀次

立野ガバナーのご来場を心から歓迎いたします。

坂本 一民

立野ガバナーのご来訪 誠に有難う御座います。

井戸 幹雄

立野ガバナーのお越しを心より歓迎します。荒木さんご苦勞様です。

南川 和茂

立野ガバナー 公式訪問、熱烈歓迎

福原 哲晃

立野ガバナー、ようこそお越し頂きました。

中村 健輔

立野ガバナーの御来訪を歓迎して、

在本 茂

国際ロータリー2660地区 立野ガバナーを心からお迎えします。

高田 肇

立野ガバナー 御来訪 感謝！感謝！

中川 政照

立野ガバナー よくいらっしやいました！！

SAA一同

誕生日自祝

高田 肇

誕生日自祝

寺村 清

誕生日自祝

中島 清治

誕生日自祝

中村 健輔

誕生日自祝

安田 義治

誕生日自祝

在本 茂

誕生日自祝

福井 興

誕生日自祝

阪本 宗久

8/5〜足ひざ関節の手術の為入院し、8/27 退院致しました。現在リハビリ中で手術は成功、自祝

橋本 守之

誕生日自祝。今日、SAAからTELがあるまで、誕生日を忘れていました。

南川 和茂

平成27年9月3日	合計金	149,000円
	累計金	736,000円

☆☆ 先週(9月3日)の卓話 ☆☆

「ガバナー所感」

RI 2660地区 ガバナー 立野 純三 様

皆さん、こんにちは。2660地区本年度ガバナーを仰せつかっております立野です。宜しく願い致します。

大阪天満橋ロータリークラブには、日頃何かと地区事業、運営に対してご協力をいただき有難うございます。本年は、地区にガバナー補佐エレクトとして郡さん、社会奉仕委員会に溝手さん、ローターアクト委員会に中島さんが、それぞれに出向していただき活躍をしていただいております。有難うございます。

それでは、まず最初に私がこの1月にガバナーとしての研修に参加しましたアメリカ サンディエゴで開催されました国際協議会の初日の晩餐会で、ラビンドランRI会長が熱い思いでお話をされた本年度RI会長テーマを5分程度にまとめました映像をご覧いただき、その後私が本年度方針の中で7つの重点項目を掲げておりますが、その中から大阪天満橋ロータリーで参考になればと思う項目をお話させていただきます。最後に、12月4日・5日に開催されます2660地区 地区大会のPRビデオをご覧いただきたいと思ひます。

皆さん、今ラビンドランRI会長が熱い思いで語られているビデオを見て頂きましたが、どの様に感じられたでしょうか。私はサンディエゴでお話をお聞きした時は、ラビンドランRI会長の考えに共感致しました。本年度のRIテーマは『世界へのプレゼントになろう Be a gift to the world』2660地区の方針は『変革を！ロータリーを通じて奉仕(プレゼント)を！』です。

大阪天満橋ロータリークラブ山本会長は、本年度のクラブ方針を、RIテーマ及び2660地区方針を考慮して、『奉仕(プレゼント)を実践し、絆を深めよう！』とされました。2年後の創立50周年に向けて、歴史に相応しいクラブを目指して変革を進めていく決意をされておられます。また、すべての会員が原点に戻り、心機一転しクラブの奉仕活動を充実させ、奉仕を通して会員同士の絆を深め、クラブの存在そのものが「世界のへのプレゼント」になり得ることを目指すとされています。具体的な重点項目として4つの項目を掲げられた中で、「戦略計画委員会の立ち上げ」「会員増強」「RI会長賞を目指す」、この3つの項目について私の考えも交えながら、お話をさせていただきたいと思ひます。

そして、本年の委員会活動に少しでも参考にしていただければ幸いです。

私は地区の本年度方針の具体的事項として、7つ

の項目を掲げていますが、まず戦略計画委員会を各クラブに発足して欲しいと願ひしています。

ロータリーは単年度制で、毎年RI会長テーマ、地区ガバナー方針、クラブ方針がその年毎で変わり継続性がありません。各クラブによって問題になる重点テーマは違うでしょう。

私の出身クラブは昨年戦略計画委員会を立ち上げ、この5月に全会員に対して『大阪ロータリーの適正な会員数、クラブの未来はどうあるべきか』『クラブライフは満足しているか』等のテーマで、アンケートを取り、70%近くの回収率でした。このアンケートを基に、どのテーマを優先して実施し、より魅力的なクラブにする為に、何を実行していくのか、戦略計画委員会で検討をしています。

これを企業に置き換えてみますと、戦略計画委員会は経営企画室ではないでしょうか。企業が中長期の戦略計画を考えるのは当たり前ではないでしょうか。具体的に「成長戦略をどの様に立てるのか」「どう売り上げ利益をあげるのか」「組織をどうするのか」「新製品の開発はどうするのか」「海外にどのように展開をしていくのか」「その為に資金繰りはどうするのか」等、多岐に渡って計画を練り、毎年確実に達成していかなければ企業の明日はありません。例えば、戦略計画委員会のテーマが、会員増強、会員維持、会員の質だとすれば、私が大阪ロータリーに入会をして幹事を務めさせていただいた20年前は、大阪ロータリーの会員数は320名程在籍をされていました。地区で5700名程おられましたが、現在、大阪ロータリーは270名弱、地区は3600名弱に減っています。そして、私が大阪ロータリーに入会した26年前といひますと、一業種1名、会員は業界を代表するような人達で、年齢と言えば私より上の人ばかりでした。もちろん入会して仲間にしていただく事は嬉しかったし、誇りにさえ思えました。ただ、年齢に関係なくロータリーに対して共通の価値観と情熱をもっている事を知りました。

ロータリーに対して周りからの見る目は少なくとも今よりステータスがあったと思ひます。ラビンドランRI会長も私もクラブの基盤増強に対しての考えは共通していると思ひます。

まず、私は、入会を促進する取り組みにおいて大切なことは、ロータリーのDNAを大切に考えることだと思ひます。DNAとは、決して変わらないロータリーに対する価値観、優先事項(出席率、財団寄付等)奉仕への献身を絶対に忘れないことだと思ひます。また、ロータリー設立の目的を大切にすることでもあります。時代に即するために妥協して、大切なロータリーのDNAをあっさり捨ててしまうと組織は長続きしません。変えてはならないところを変えてしまい、信じる土台がなくなれば組織、ロータリーの存在価値はなくなります。一方、時代背景の変化にともなって、ロータリーも時代と共に変わらなければならぬ所があると思ひます。

ゼネラル・エレクトリック社の変革に取り組み、世界的視野をもつ収益性の高い組織に変えた、20

世紀における最も優れた経営者ジャック・ウェルチは「組織は内部の変化が外部の変化についていけなくなった時、終わりはすぐそこに来ている」と述べています。変化や革新は年齢に関係なくフレッシュな視点をもった人から生まれるものであり、こうした人こそクラブにとって最も貴重な資産だと思ひます。あるロータリーの小冊子に書かれていた文章ですが『ロータリーの目的は有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成することにある。ロータリークラブは実業家及び専門職業人のクラブです。仕事のない人は会員になれない建前です。

どんな職業でも仕事でも、たいがい他人の役に立っています。他人の役に立たないようなものは有益な職業ではありません』と書かれていました。また、ラビンドランRI会長が先程のスピーチの中でも言うておられましたが『当組織を形づくった基礎に立ち返る方法を見つける必要がある。それは人生のあらゆる場での高い倫理基準、そして各クラブの会員の多様性をもたらず職業分類です。しかしこれらは会員増強の足を引っばる障害にすぎないとみられる。しかし、これらはロータリーの成功に欠かせない要素であり、なおざりにすれば自らの存在を危うくする』と言っています。クラブが内外からみて魅力があり、活気があり、楽しそうであれば、おのずと人は集まってくると思ひます。山本会長がおっしゃっておられるように、会員一人一人が50周年に向けて明確な目標を定め、実践することによって、貴クラブが会員の皆さんにとって価値あるものになり、入会してよかったと思えるクラブになれることを願っております。

次に、すでに何度かお話をしておりますが、私の国際奉仕の原点を少しお話をさせていただきたいと思ひます。私は大阪青年会議所時代に、国際婦人福祉連盟の有志の方々のご協力によって、世界的NGO団体のセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの設立に携わり、18年間にわたりこの団体の理事長を務めさせていただきました。セーブ・ザ・チルドレンと申しまして、ご存じない方も多いと思ひますので簡単に概略をご説明させていただきます。1914年 第一時世界大戦で両親や家を失ったヨーロッパの悲惨な状況下にあった子供達をみかねたイギリスのエブランチン・ジョブ女史が、これらの恵まれない子供達を救うことを目的として始めた団体です。ヨーロッパやアメリカでは有名な団体で信頼もされております。

今、世界で50ヶ国が加盟をして世界各地で活躍しています。なぜ私が18年間もこの団体のお手伝いが出来たのかと言ひますと、最初にフィリピンギマラス島にお金の寄付をして村中の人達と一緒に小学校を建設しました。その小学校の竣工式に出席をした時、村中の人達から熱烈な歓迎を受けた事と、何よりもその学校を使用する子供達が素晴らしい笑顔で迎えてくれたことが、セーブ・ザ・チルドレンの活動を続けられた一番の要因でした。まさに「百聞は一見にしかず」、現地を知ることが大事だ